

51. 湧泉調査の手引き 地学ハンドブックシリーズ・6

高橋一・末永和幸 共著

地学団体研究会 (1992)

B6判 p.114

定価 1,000 円



---

目次

はじめに

I 湧泉て何だろう

人間と地下水の接点、湧泉から湧出する湧水、湧泉と自噴井

II 湧泉の探し方

まずは準備、さあフィールドへ出よう

III 現地での調べ方

地形図を見て、湧泉を記録する

IV 湧出機構をさぐる

さまざまな湧出機構、現地での観察

V 湧水の量を測る

湧出量の特徴、現地についたら

VI 湧水の水質を測る

現地での簡易測定、実験室での水質分析、湧水の水質についての解析例

VII 湧水と生物

水生植物、水生動物

VIII 湧泉と生活

生活と水、湧泉と稲作、湧泉と特用作物栽培、湧泉と養魚、人工湧泉、くらしのなかの湧泉

IX 湧泉と水文環境

降水量と地下水位の関係、水田かんがいと地下水位、湧出量の関係、浅層地下水に食いつく深層地下水の揚水、ガンマ型湧泉

X 湧泉をまもるために

参考書、用語解説

---

紹介コメント

本書は、「地下水の自然の露頭である湧泉」について書かれた本である。ちなみに、湧泉とは、湧き水の存在する「場所」を意味する。ただし、本書では、湧泉だけでなく、現地調査全般に関する貴重なアドバイスがちりばめられている。なお、「湧泉から湧出する湧水」といったとき、湧出とは地下水がわきだす「こと」であり、湧水とは、湧き出した水その「もの」を意味する。言葉の違いに敏感になれることも、本書の利点の一つかもしれない。